

受験番号	氏名
模範解答	

合計	※
----	---

※ のらんには何も記入しないこと。

1

問題1	ア	9	イ	99
-----	---	---	---	----

※

問題2	各位の数字の和が9の倍数であるかどうかということ
-----	--------------------------

※

問題3	G(9)は9, 18, 27, 36, 45, 54, 63, 72, 81, 90。 G(18)は99。
-----	--

※

問題4	(1)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Aの値</th> <th>B+Cの値</th> <th>BとCの組合せの個数(個)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>9</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>8</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>7</td><td>2</td><td>3</td></tr> <tr><td>6</td><td>3</td><td>4</td></tr> <tr><td>5</td><td>4</td><td>5</td></tr> <tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr> <tr><td>3</td><td>6</td><td>7</td></tr> <tr><td>2</td><td>7</td><td>8</td></tr> <tr><td>1</td><td>8</td><td>9</td></tr> <tr><td>0</td><td>9</td><td>10</td></tr> </tbody> </table>	Aの値	B+Cの値	BとCの組合せの個数(個)	9	0	1	8	1	2	7	2	3	6	3	4	5	4	5	4	5	6	3	6	7	2	7	8	1	8	9	0	9	10	※
	Aの値	B+Cの値	BとCの組合せの個数(個)																																	
9	0	1																																		
8	1	2																																		
7	2	3																																		
6	3	4																																		
5	4	5																																		
4	5	6																																		
3	6	7																																		
2	7	8																																		
1	8	9																																		
0	9	10																																		
(2)	G(9)の個数は、A、B、Cの組合せをすべてたせば求められる。 $1+2+3+\dots+10=55$ なので、G(9)の個数は55個である。	※																																		

(1)	111 個	(2)	612
-----	-------	-----	-----

※

(3)	G(9)、G(18)、G(27)
-----	------------------

※

問題5	(4)	問題文の組合せを使うと、G(9)にはいる整数とG(18)にはいる整数がひとつずつ過不足なく組になる。 これより、G(9)とG(18)にはいる整数の個数は同じである。 9の倍数は、G(9)、G(18)、G(27)のいずれかにはいり、G(27)にはいる整数の個数は999の1個である。 G(9)とG(18)にはいる整数の個数は、 $(111-1) \div 2 = 55$ 個である。	※
	小計	※	

受験番号	氏名

※ のらんには何も記入しないこと。

2	問題1	(1)	貝塚は海に近いところに住んだ人たちが食べた貝殻などを捨てた場所だから。	※
		(2)	約6000年前の海岸線の方が内陸部に入りこんでいる。そのことから現在よりも気温が高く、海面が上昇していたことがわかる。	※
	問題2	(1)	百姓一揆	※
		(2)	1780年代と1830年代に百姓一揆や打ちこわしが多く発生しているのは、それぞれ大規模な飢饉があった時期と重なっている。飢饉は冷害によってもたらされたもので、米や農作物が取れず、食料が不足したために、年貢や米の値段の引き下げを求める人たちが百姓一揆や打ち壊しをはげしくおこなったためと考えられる	※
	問題3	(1)	4都市とも、猛暑日も熱帯夜も増加してきたといえる。このうち、猛暑日の増え方は、4都市間でややばらつきがあるが、熱帯夜の増え方は、この30年間で4都市ともに急速に増加している。	※
		(2)	人間の諸活動による気温の上昇によるものと考えられるのは、すべての地点でみられた熱帯夜の大幅な増加である。東京や横浜市では、5年ごとの合計日数が、この30年間で80日以上も増えている。特に横浜市では、この30年間で猛暑日はほとんど増えていないが、熱帯夜は30年間で倍増している。夜間と日中の温度差の大きい内陸部の八王子や熊谷でも、熱帯夜は増加し続けている。 このように、夜間にも気温が下がらない日数が関東地方の各都市でいちじるしく増加しているのは、建物や道路がコンクリートやアスファルトにおおわれて熱が逃げにくくなっていることや、エアコンの室外機からの排気が増えるなど、人間の諸活動によるものと、考えることができる。	※
		小計		※

適性検査型 II その3

受験番号	氏名

※ のらんには何も記入しないこと。

3

問題1	(1)	(漢字が読めない)外国人	(漢字が読めない)幼い子供	※
	(2)	走る向きが、避難する方向を向いている。 ピクトグラムと矢印を組み合わせて、避難の方向を わかりやすくしている。		※

問題2	(1)	(ア) 参加国	(イ) アジア	※
	(2)	1948年ロンドン大会のピクトグラムは、人や物を見た とおりに写實的に表現しているが、1964年東京大会以 降は、形を簡略化し、シルエットだけで表現している。		※

問題3	<p>わたしは、次のような条件を備えていることが大事だと考えます。</p> <p>こども、外国人、お年寄り、体に障がいのある人、だれもが理解できるわかりやすい形であること。</p> <p>遠くからでも見やすく、すぐわかる簡潔な形であること。そのためには、「禁止」は丸に斜線、などの決まりを作り、情報をわかりやすくすること。</p> <p>標準化された同じデザインのピクトグラムが、広く世の中で使われて、多くの人々に共有されること。そのためは、流行に左右されないで時代を越えて長く使われるデザインあること。</p>	※
-----	--	---

小計	※
----	---